

すっちゃんPresents

「電気料金を理由とした

値上げ要請への正しい対応」

2023/12/02(土)

鈴木 利博 (すっちゃん)

サムライ・スチール合同会社 代表

(購買ネットワーク会 関西分科会)



もくじ

 自己紹介

 過去在籍企業&現職

 本編

 おわり



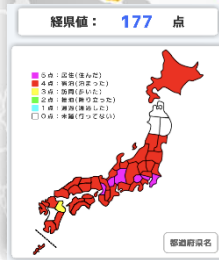
【注記】「材工分割」「水準修正」「イタドリ」「タテの集購」および「時空調達」は、サムライ・スチール合同会社のコスト合理化用語
「イタコナ」「低位平準化」は、パナソニック(株)の調達関連用語

【出典】(通関統計)財務省貿易統計、(画像)シルエットAC/been/経県値

自己紹介 (すっちゃん)



世界40数か国を歴訪。どの国でも
生水ガブ飲み。自分よりカバンが
小さい旅人に出会った事なし



No Photo



【性格】
 理知的
 好奇心旺盛
 几帳面かつ
 積極果敢

【他者評】
 溢れる気概
 熱い男

【趣味】
 読書/スノボ
 海外自由旅行
 おやじの会
 調達の合理化

過去在籍企業と主要業績 (鈴木利博)



【三位一体のレアメタル新規開拓】営業職能
アンチモン地金の新規商圏構築と本邦輸入シェア15%獲得
ゼロからの仕入、ゼロからの販売、ゼロからの商材、「**ゼロイチ**」

国内高炉各社
韓国Posco、
台湾CSC、



韓国ポスコ社指定商社、薄板全種/厚板/ステンレス取扱い
電機/自動車/建機/単圧ミル/コイルセンター等へ販売
DKC社ステンレス厚板で顧客20社**新規開拓**

日韓台高炉の
一次商社業務
を経験、長い
鉄鋼業界で



【悲願の鉄鋼集中購買化を実現】営業→(以降)調達
個別最適に囚われ、変われぬ大企業を経験と情熱で変革
不可能と思われた全社集中購買体制へ四半世紀ぶりに回帰

ただひとり！
【One&Only】

コイルセンター現場訪問
国内海外60拠点以上
現場・現物を重視

【「鉄鋼業界から電機業界への贈り物」と称される】CR率5-50%
営業/調達双方の論理・心理を理解、仕入先が納得&協力の原価低減
立案から実践まで完遂、「**材工分割**」「**水準修正**」等独自手法を確立



【神出鬼没のコストダウン請負人】 本社調達部門在籍、無数の現場改善
空調/給湯/冷蔵庫/洗濯機/調理家電/AV機器/太陽光/二次電池/
照明器具/HEVバッテリー/光ピックアップ/モータ/雨樋/外壁/住宅/精密
デバイス/生産設備...**SCM全体最適化、「イタコナ」「イタドリ」**

仕入先営業
担当が感嘆、
積極的な協
力を引出し、
動機付け



【圧倒的な調達技能で慣習打破】 知的探求心で商材幅拡大
産業ガス業界で史上初、タンクメーカーへ鋼板材料無償支給
医薬品/大型トラック/プラント据付撤去で戦略構築、CR刈取

サムライ・スチール(同)は...

7期目

製造業の調達購買部門向けコンサルティング企業

(特徴：①製造業の調達部門出身者の経営)

(特徴：②各品目カテゴリーの専門家多数在籍)

◆サービス：調達コスト削減支援（成功報酬型/定額型）
～戦略構築/Spend分析/同席交渉/仕組化～

◆対象品目：直接材(原材料系)、間接材(高難度品)

◆主要クライアント（現在および過去）

半導体/原料系製品/家電/配電盤/電気電子部品/金属プレス/鋳物
精密デバイス/自動車部品/大手宅配便/産業機器/建機部品/樹脂成形/
大手コンサルティング企業/間接材コスト削減コンサルティング企業...

本日のターゲット層

★ 直接材・間接材の調達担当者

★ 調達部門の責任者

(直接材と間接材の両方を管掌)

★ 調達している品目の製造原価に占める
電気料金の構成比が比較的に大きな
品目の調達担当者

(例:産業ガス/非鉄/鋳物/熱処理)



本編資料(本ppt)並行して、
価格改定時の電力会社の資料、
サムライ・スチール社の実務的な資料、
実際の請求書等を織り交ぜながら
説明していきます★～

本編資料を除いて、いずれも、当日の投影のみです



「電気料金」以前に...全ての品目で

- 「1行見積」を許していないか？
- 価格改定を説明する仕入先発行の文書や見積書記載の計算根拠を検証しているか？
- 先方提示資料とは別に、自社でも統計や市況等のDataを取得しているか？

調達購買部門は「少数精鋭」、人材も時間も限定。
金額規模や自社製品に致命的な影響を及ぼす品目等、
効率も考慮に入れ、コストの抑制と削減に邁進すべし！



「電気代」理由の値上げ要請で...

- 営業担当は電力料金の仕組みを知らない
- 先方内の他者が示した上げ幅の転嫁が主体
(例:経営層、調達本部、原価管理部門)
- 背景や理由を説明する自社資料の内容を
読み込んでいない事すら、あり(-.-)

値上げ必至な状況下でも、コスト「抑制」は常に重要。
だが、論理もなく闇雲に交渉したり、「時期」と「高さ」で、
いたずらに「面積」を稼ごうとする事は美しい調達でない。



結論から述べると...「望ましい対応」は...

- ① 仕入先の電気料金Cost-Up総額の把握
- ② その内、自社向けに振分けられる費用の計算
→ 売上高に占める調達額で案分もひとつの手法
(取引品番が多く、詳細見積書(仕入先書式、自社専用
フォーマットを問わず)を展開しているケースで有効)

仕入先の電気料金高騰の内、自社向け製品の製造に相当する総額(妥当と言える水準まで)の見極めが肝要。製品別に精緻な原価計算がある場合は、そこに反映。



仕入先の電気料金Cost-Up総額の検証

- ① 「契約プラン」確認：高圧/特高、季時別、他
- ② 価格改定の把握：各項目単価別
- ③ 対象期間の比定：12か月分推奨
- ④ 影響金額の計算：申告値、実績値(請求書)
- ⑤ 許容額の試算：取引額ベース*

*仕入先の売上高に占める取引額シェアを基に、コスト増の許容額を計算。調達品目(数量/重量)に応じて、単価に案分。製法別の電力消費量を加味するのも可。



「電気料金」の基本的メカニズム

電気料金=A+B+C+D

A: **基本料金** = 基本料金単価 × 最大需要電力 × 力率割引

B: **電力量料金** = 電力量料金単価 × 使用電力量

C: **燃料費調整額** = 燃料費調整単価 × 使用電力量

D: **再エネ賦課金** = 賦課金単価 × 使用電力量

電力会社の公式HPや価格改定時の説明資料では、BとCをまとめて、「従量料金」として解説している場合も多い。上記のように区分した方が理解が容易。



A: 基本料金

- 基本料金も変動する（家庭用とは相違）
- 基本料金単価(固定) \times 最大需要電力(変動)
- デマンド値...「安定供給」という名目と実態
- 「1:17520」、「予防」か、「対処」か

デマンド監視機器や制御装置は各種サービスあり。
医療と同様、「対処」も重要だが、「予防」は費用ゼロ。
仕組みを理解して、特に中小サプライヤーとも共有！



B: 電力量料金

- 「季節別」、「季時別(季節別時間帯別)」
- 「夏季」7/8/9月、「その他季」10-6月
- 「昼間時間」「夜間時間」「重負荷(ピーク)時間」
- 時間帯区分は、各社で異なり、要注意*

例：高圧契約(500kW以上)のピーク時間

中部電力：夏季の毎日10時～17時(休日等除外)

東北電力：夏季の毎日13時～16時(休日等除外)



C: 燃料費調整額

- 基準燃料価格と平均燃料価格*との差額
- *:原油/LNG/石炭の貿易統計で毎月算定
- (N-5/N-4/N-3)月の平均単価→N月に適用
- 各地区電力会社の電源構成で差があり

電力会社の価格改定時は、「基準燃料価格」も改定。
通関統計で原料3品目を追跡していれば先行把握可。
仕入先との市況連動で範囲にしていれば、要注視。



D: 再エネ賦課金

再生可能エネルギー発電促進賦課金

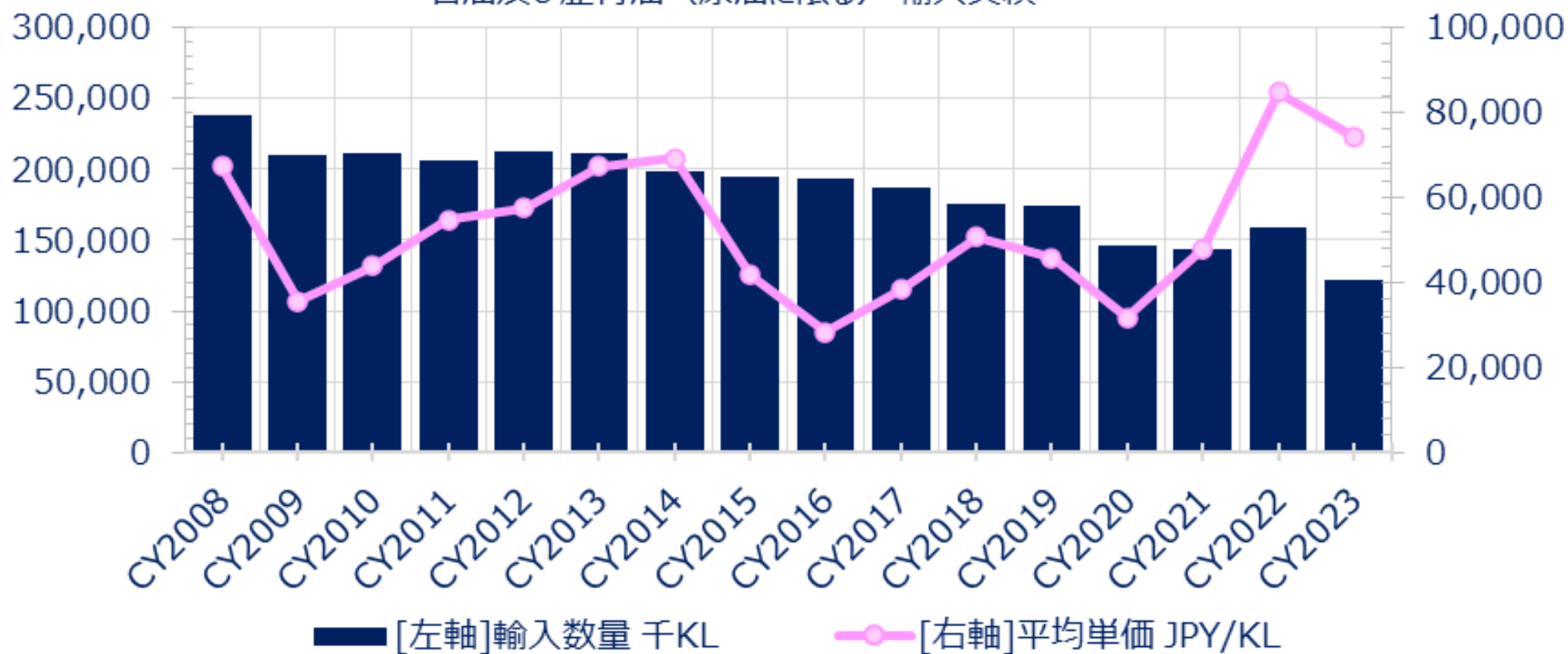
年度	再エネ賦課金 期間	買取単価	前年度比	前年度比 %
FY2012	2012年8月分～2013年3月分	0.22円/kWh	-	-
FY2013	2013年4月分～2014年4月分	0.35円/kWh	+0.13	+59%
FY2014	2014年5月分～2015年4月分	0.75円/kWh	+0.40	+114%
FY2015	2015年5月分～2016年4月分	1.58円/kWh	+0.83	+111%
FY2016	2016年5月分～2017年4月分	2.25円/kWh	+0.67	+42%
FY2017	2017年5月分～2018年4月分	2.64円/kWh	+0.39	+17%
FY2018	2018年5月分～2019年4月分	2.90円/kWh	+0.26	+10%
FY2019	2019年5月分～2020年4月分	2.95円/kWh	+0.05	+2%
FY2020	2020年5月分～2021年4月分	2.98円/kWh	+0.03	+1%
FY2021	2021年5月分～2022年4月分	3.36円/kWh	+0.38	+13%
FY2022	2022年5月分～2023年4月分	3.45円/kWh	+0.09	+3%
FY2023	2023年5月分～2024年4月分	1.00円/kWh	▲2.45	▲71%
FY2024	2024年5月分～2025年4月分			



原油輸入実績推移

CY2022平均84,658円/KLから、CY2023(YtD)12%下落

石油及び歴青油（原油に限る） 輸入実績



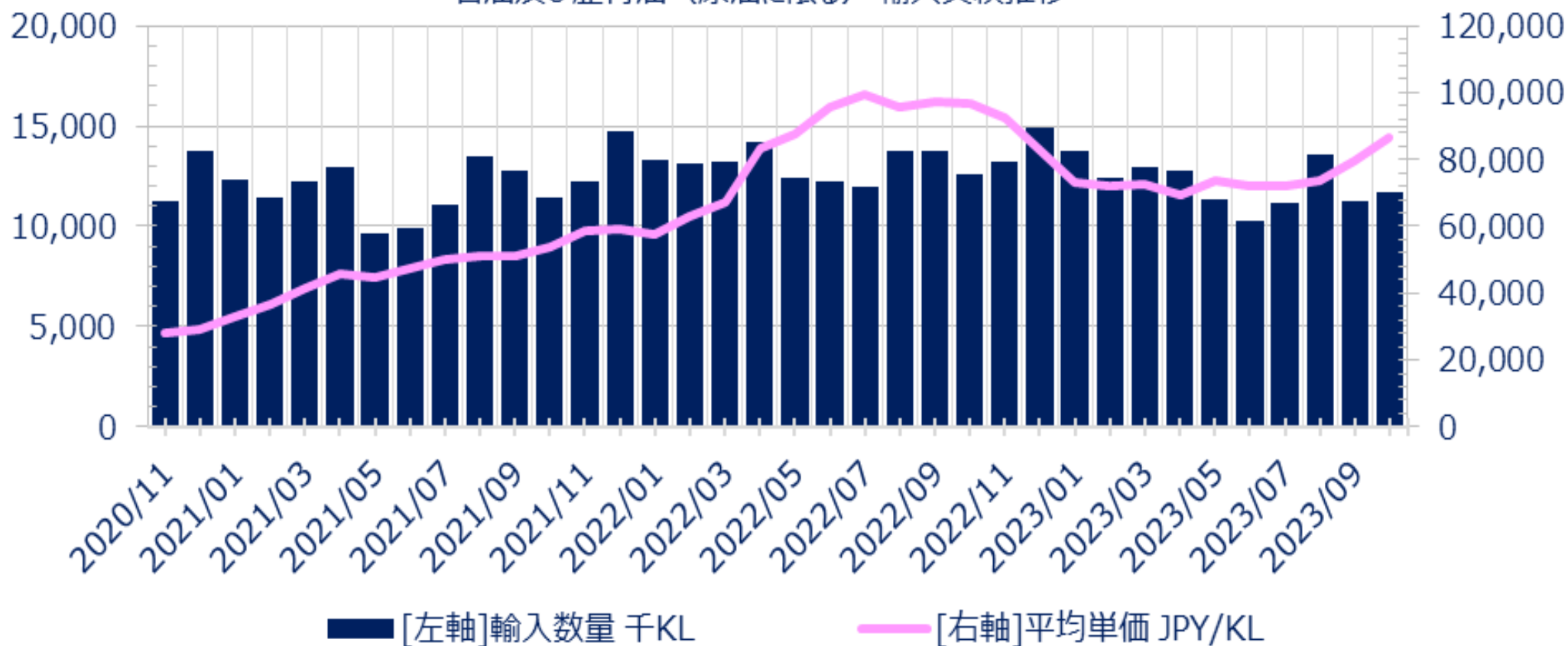
財務省貿易統計を基にサムライ・スチール合同会社作成、CY2023は、1-10月までの実績



原油輸入実績推移(36M)

2022年9月99,600円をピークから下落も、足許は反転傾向

石油及び歴青油（原油に限る） 輸入実績推移



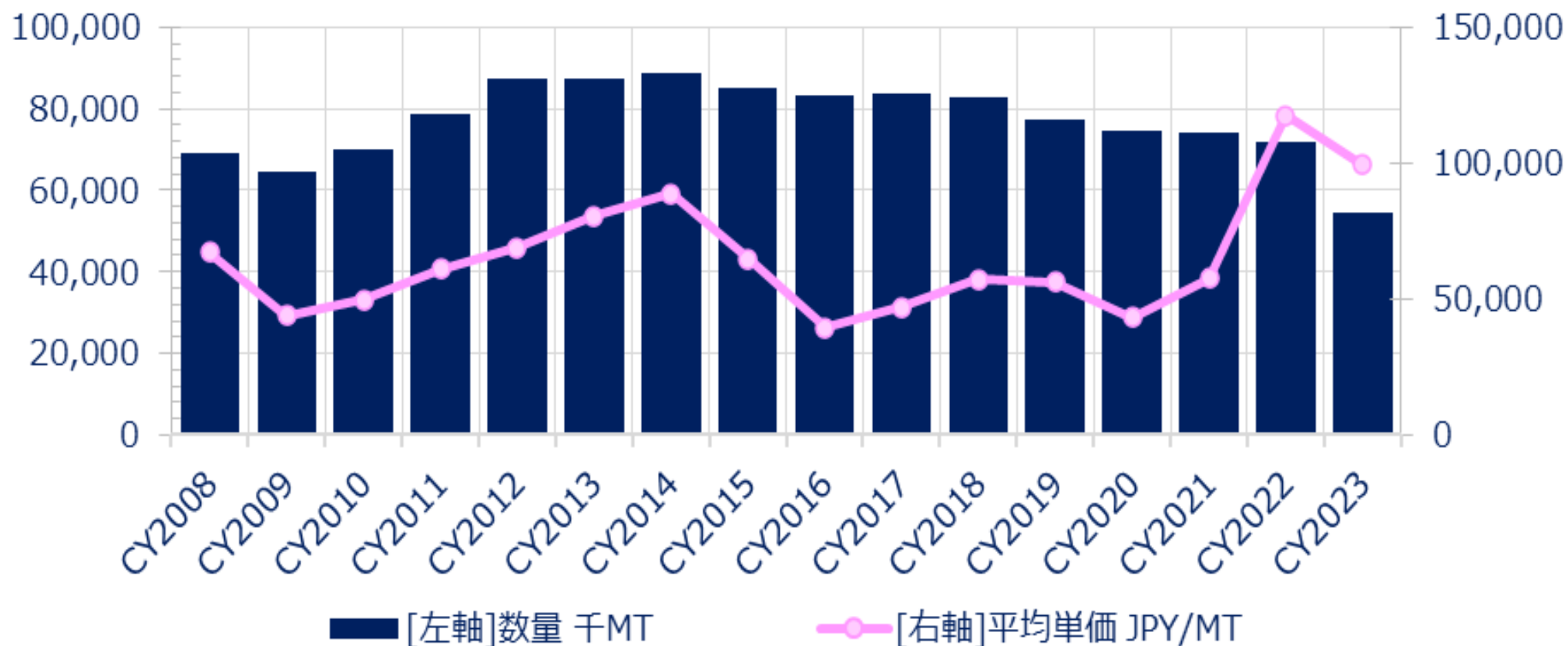
財務省貿易統計を基にサムライ・スチール合同会社作成



LNG輸入実績推移

CY2022平均117,524円/MTから、CY2023(YtD)16%下落

LNG 輸入実績推移



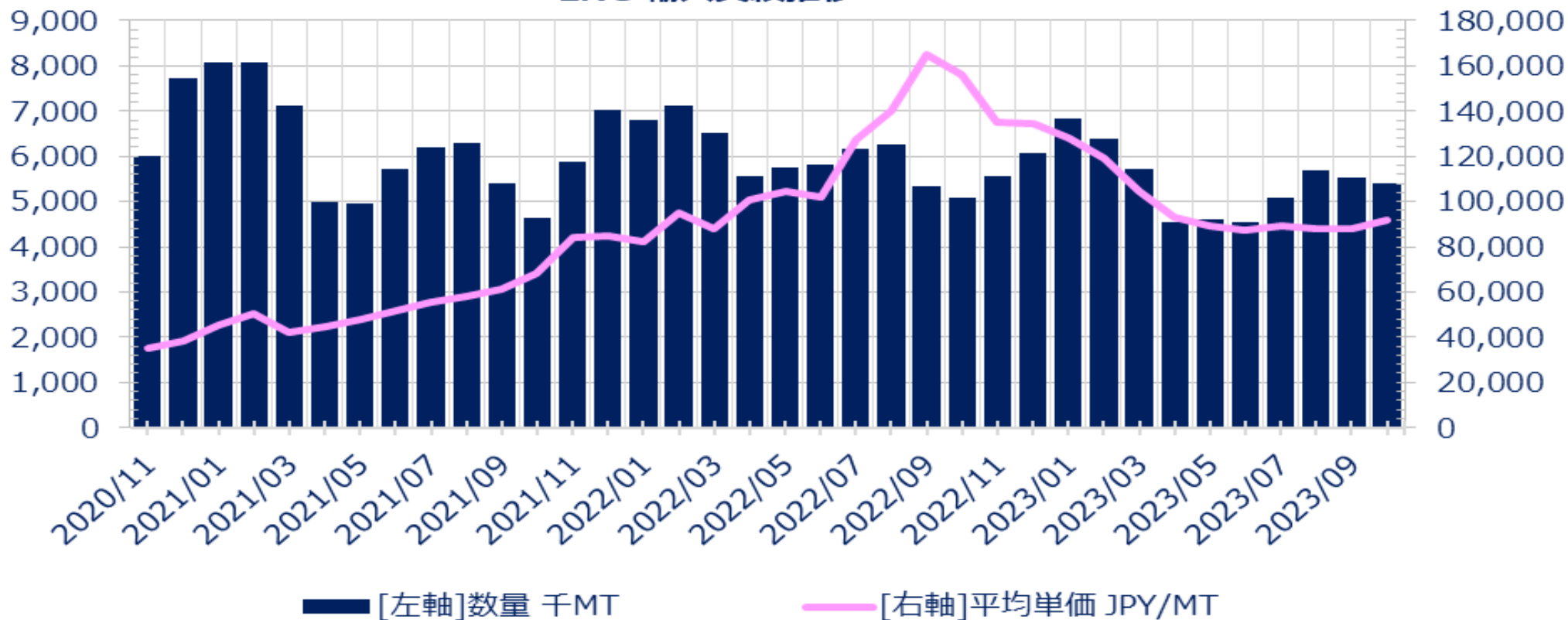
財務省貿易統計を基にサムライ・スチール合同会社作成、CY2023は、1-10月までの実績



LNG輸入実績推移(36M)

2022年9月ピーク164,790円対比、足許23年10月▲44%

LNG 輸入実績推移



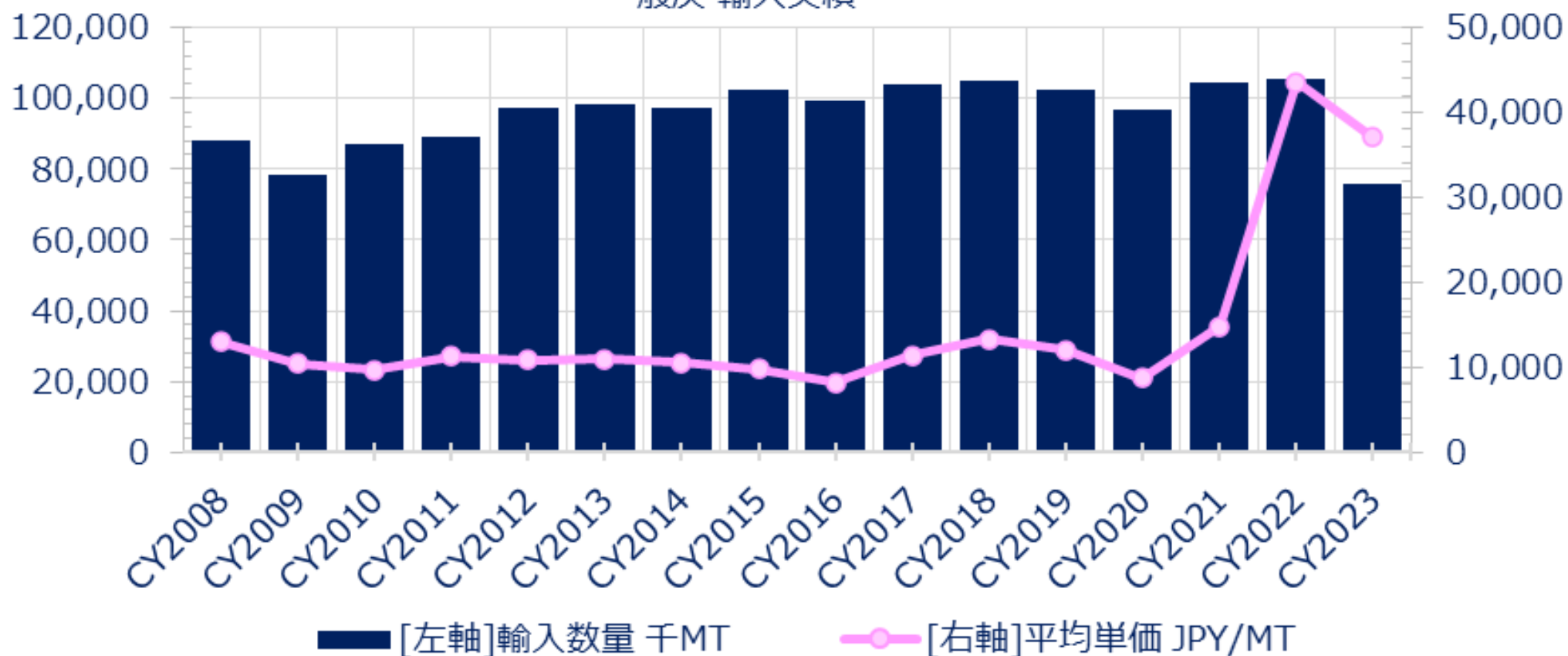
財務省貿易統計を基にサムライ・スチール合同会社作成



石炭(一般炭)輸入実績推移

CY2022平均43,599円/MTから、CY2023(YtD)15%下落

一般炭 輸入実績



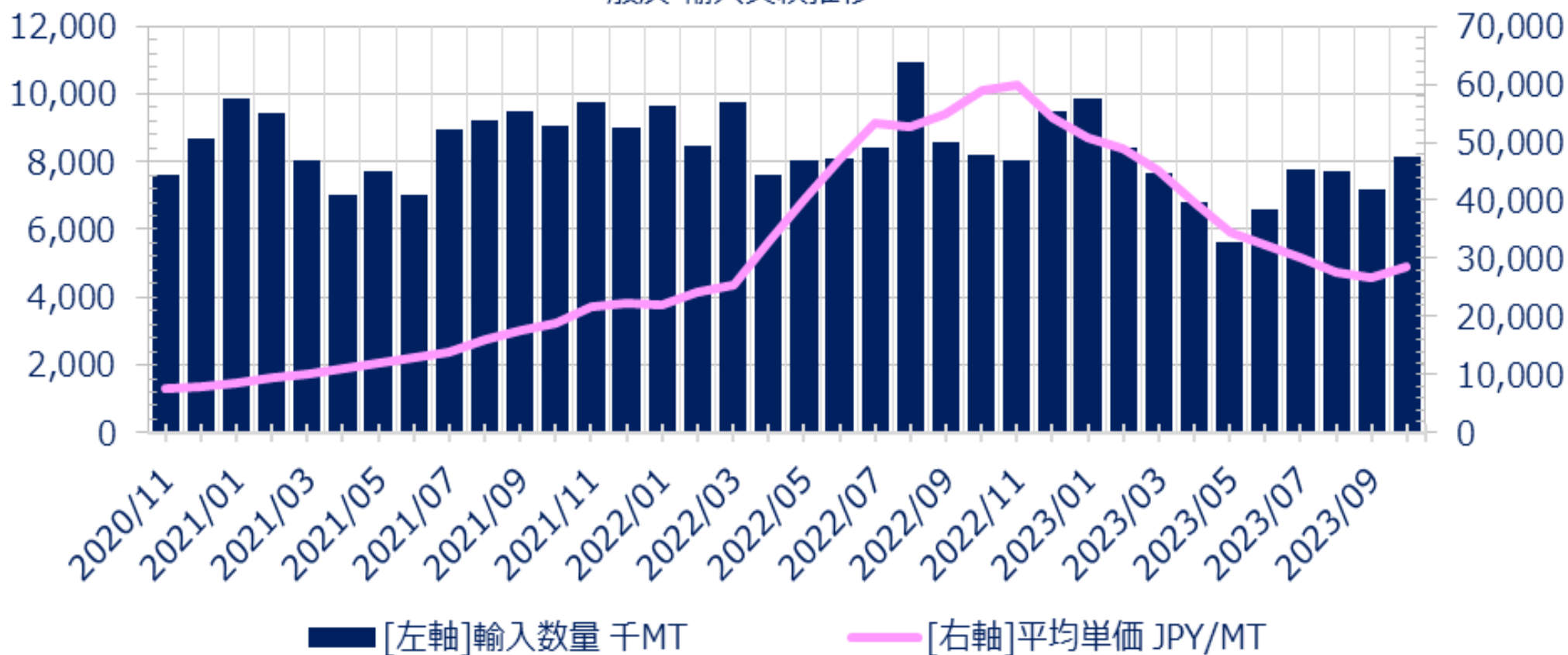
財務省貿易統計を基にサムライ・スチール合同会社作成、CY2023は、1-10月までの実績



石炭(一般炭)輸入実績推移(36M)

2022年11月ピーク59,959円対比、足許23年10月▲52%

一般炭 輸入実績推移



財務省貿易統計を基にサムライ・スチール合同会社作成

さらに...

- ① 政府補助(例: 激変緩和措置)の反映
- ② 卸市場単価 (各社で名称は微妙に異なる)
- ③ 各種割引の適用有無のチェック
- ④ 減免制度で実際の電気使用量を把握
- ⑤ 「**値戻し**」市況で上げ、市況で下げる準備

電気料金を理由とした値上げを最終的に受諾する際、将来起こりうる、原料3種と電力会社の契約プラン改定を見越した、指標連動スキームを盛り込む事が肝要。



(再掲)仕入先の電気料金Cost増額の検証

- ① 「契約プラン」確認：高圧/特高、季時別、他
- ② 価格改定の把握：各項目単価別
- ③ 対象期間の比定：12か月分推奨
- ④ 影響金額の計算：申告値、実績値(請求書)
- ⑤ 許容額の試算：取引額ベース

電気料金を理由とした「モノ」の値上げ時に、合理的な幅に抑える事、将来の値戻しを組込む事は、他の直接材や間接材にも展開できるので、その点でも有用。



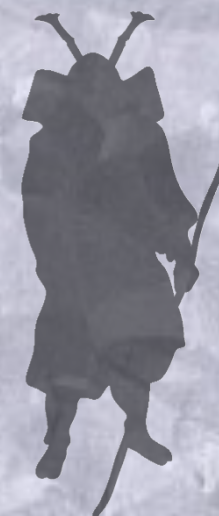


好きこそものの上手なれ

What one likes, one will do well.
興趣是最佳的老師

購買ネットワーク会での過去のプレゼン資料

- 2023/09/02(土) 第61回関西購買NW会 「すっちゃんPresents 『間接材コスト削減～具体例をあげながら～』」
- 2023/06/03(土) 第60回関西購買NW会 「すっちゃんPresents 『海上コンテナ運賃～コスト削減に繋げて～』」
- 2022/03/05(土) 第55回関西購買NW会 「すっちゃんPresents 『調達ミステリートレイン』」
- 2021/09/04(土) 第53回関西購買NW会 「コスト削減のための『原材料高騰対策』」
- 2020/11/30(月) 第16回オンライン講演会 「コスト削減のための品目カテゴリー戦略 リターンズ」
- 2020/06/20(土) 第48回関西購買NW会 「海上コンテナ...調達・物流担当なら知っておきたいイロイロ」
- 2020/03/07(土) 第47回関西購買NW会 「コスト削減のための品目カテゴリー戦略」
- 2019/03/02(土) 第43回関西購買NW会 「乗り鉄、撮り鉄、いやハガネ鉄の語る鉄鋼調達！」
- 2018/06/02(土) 第40回関西購買NW会 「『キホン』で振り返る調達・購買」



御清聴、ありがとうございました

Samurai Steel
サムライ・スチール

は調達コストの合理化で 日本のモノづくりを支援しています！



～成功報酬型の調達コスト削減コンサルティング～

サムライ・スチール合同会社（代表: 鈴木 利博）

- ・製造業の直接・間接材、製造・流通業の輸出入諸掛を最適化
- ・上場企業から年商十数億円の町工場まで、日本のモノづくりを支援中

大阪市淀川区宮原1-19-23スタジオ新御堂11階

samurai@samuraisteel.net / sadaijin0422@gmail.com

090-9613-6122 / 06-4867-4124

J.I.S.F. 日本鉄鋼連盟
The Japan Iron and Steel Federation
<http://www.jisf.or.jp>

～Appendix～

- 電力各社の価格改定資料
- 電気料金の価格メカニズム
- 最大需要電力の怖さ
- 電力各社の電源イメージMap
- 高圧プランの実際の請求書

→当日の捕捉資料として準備して投影した資料の一部（添付なし）